

実 は、森ノ宮に入学して初めて勉強することに目覚め、学生生活は楽しかったです。当時は鍼灸学科のみで、1学年昼間部・夜間部各々30名、先生方や同級生・上級生と親密な交流ができ、授業を離れても大学の教養講座を受講しているような感じでした。

上級生の渡辺真二さん(渡辺鍼灸院院長)、卒業生の中島茂先生(みどりの風鍼灸院院長)や西崎泰清先生(赤あんど鍼灸院院長)…、素晴らしい方々とたくさんの出会いがありましたが、なかでも、僕の生涯を決定づけたのが鈴木 信さん(米山鍼灸院院長)とクライスマイトだったことです。

不思議な偶然ですが、2年生の夏に帰省した折に鈴鹿にある国立診療所(現 国立病院機構鈴鹿病院)で看護師をしていた姉に「神経内科に鍼をしていた先生がおられたけれど、将来、病院に勤めることもできるのじゃない?」と言われたことを鈴木 信さんに話すと、その神経内科医がなんと彼の伯父さんの米山 榮先生だったのです。さらに偶然が重なって、3年生の夏休みに榮先生が神経内科部長を務められる四日市の病院で研修することができ、その後卒業までの半年間は米山鍼灸院の義・由子先生の下で押手や鍼の打ち方、患者さんの診方を丹念に教えていただきました。そして、卒業後は1年間四日市の榮先生の下でみっちり医学の指導を受けながら外来鍼灸師として勤務しました。その後、恩師の薦めで附属診療所に3年間勤めた後、米山鍼灸院に勤務の傍ら、再び榮先生のご指導の下、神経内科・鍼灸外来で週1回、4年間勤めさせていただきました。内科や神経内科系の患者さんを始め、多くの患者さんの治療に携わることができた貴重な時間でした。

患 者さんに鍼を打ったときに、「お、良い技を見つけた!」と思わずバンザイしたくなるときがあります。しかしその直後に、由子先生や義先生の手技がフィードバックされます。前人未到の最高峰に登頂し、自分の旗を立てようとしたら、既に旗は立っていた…そんな感じでした。

お二人とも鍼の打ち方は違いますが、ポイントの捉え方や診方は同じ、与えるものは何でも持っていったらいい、強要はしないという考え方なので全く混乱することはありませんでしたが、同じように治療してどうして治らないのか…悩みました。与えられたものを受けきれだけの力が僕についていなかったのだと思います。それは10年ほど続きましたね。それが突然、壁を突き抜けて別のステージに上がったように、昨日まで治せなかったものが治せるようになっていきます。振り返ると、成長ってそういうものなのかな、とつくづく思っています。

開 業は、10年前に実家の1室に1台のベッドと机を置いてただけでスタートしました。お金が無くても開業できるよという見本のような日本一狭い治療院で、卒業生にも紹介したいですね(笑)。当時は米山鍼灸院勤務と森ノ宮医療大



ゆたに とおる
湯谷 達さん

大阪鍼灸専門学校(現森ノ宮医療学園専門学校) 鍼灸学科第21期夜間部卒業
森ノ宮医療学園専門学校柔道整復学科第6期夜間部卒業
【さざなみ鍼灸院院長】

学の非常勤講師等多足のワラジで、休日のみの治療でした。実家の治療院を閉め、このさざなみ鍼灸院を開院したのは4年前です。地元をベースに臨床現場に腰を据えていこうと思っています。

森ノ宮医療大学では約10年間基礎研究を臨床にどう活かすかというテーマで研究してきましたが、実際に鍼灸治療をしている臨床家こそ研究者にならないといけないと思っています。基礎研究は本来、鍼灸師が実際に臨床においてどういう研究が必要かを基に行う必要があります。つまり臨床研究と基礎研究は表裏一体です。そのためにも開業鍼灸師仲間とグループを作って、大学と連携して研究ができるようになるといいと思っています。



【さざなみ鍼灸院】
入口に設置された表札。ホームページも設けていない。患者さんは口コミや紹介で来院される方のみ。

僕 の知識や技術は先生方からの預かりものです。米山 榮・義・由子先生が開業鍼灸師を育てることに情熱を注いでこられた姿を見てきて、それらを次に正しく伝えていきたいと思っています。

弟子を育てるといふのは少し違って、鍼灸師として必要な本物の医学的な知識や技術を教えていただいたことへの恩返しをする思いで、昨年から校友会勉強会の講師も務めさせていただいています。僕は由子先生の毫鍼を極めたいと思っていますが、栄先生から学んだ開業鍼灸師に必要な医学的な知識や病態把握、診断学がベースにあればどういう手技や形態でもいいと思っています。これから校友会を通じて、開業している卒業生や学生さんとともに勉強して行きたいです。互いに交流できる場として、校友会は最高だと思います。



ドアを開けた途端に爽やかな木の香りに包まれる。ブラインドも木製。
患者さんは治療ベッドに横になると、月夜見窓の緑が目に入りリラックスした
気持で治療が受けられる。